

2面	セーフティ教室 開かれた学校をめざして
3面	中学校給食 教育委員会の動き イベントカレンダー
4面	イベントカレンダー

「町田市学校教育情報ネットワーク」事業

学校LANの活用

町田市は昨年度、都内最大規模の学校LAN（市立小・中学校全60校のすべての普通・特別教室を結ぶ一本の高速ネットワーク）を構築しました。これにより、学校間・校内において、情報共有が可能になりました。

市では、このネットワークを積極的に活用するため、教員向けの教育情報コンテンツを学校LAN内に整備する「町田市学校教育情報ネットワーク」事業を立ち上げました。この事業は、授業実践や授業研究に生かせる様々な情報を提供することにより、個々の教員の授業力を高めることがねらいです。以下に、整備したいいくつかのコンテンツ（部屋）を紹介しま



授業おたすけ工房
教材の部屋
教材の部屋には、授業で活用できるデジタル教材が蓄積されています。それを各校のパソコンから必要に応じて取り出し、授業に生かしていきます。

現在デジタル教材は、阪神大震災当日の映像や液化現象の実験・天体の動きのパネル体験等

指導案の部屋
指導案の部屋には、実際の授業で使った指導案（授業の進め方の計画や評価）が蓄積されています。現在は、道徳の指導案を中心に約80点あり、今後も各教科の指導案を順次増やす予定です。

モデル授業の部屋
先生が授業をする際、参考となる優れた授業実践を映像に残していきます。1時間の授業そのままを映像にしていると効率的な使用ができないので、参考としてすぐに見ることができるよう、導入・展開・まとめ等を5分程度に編

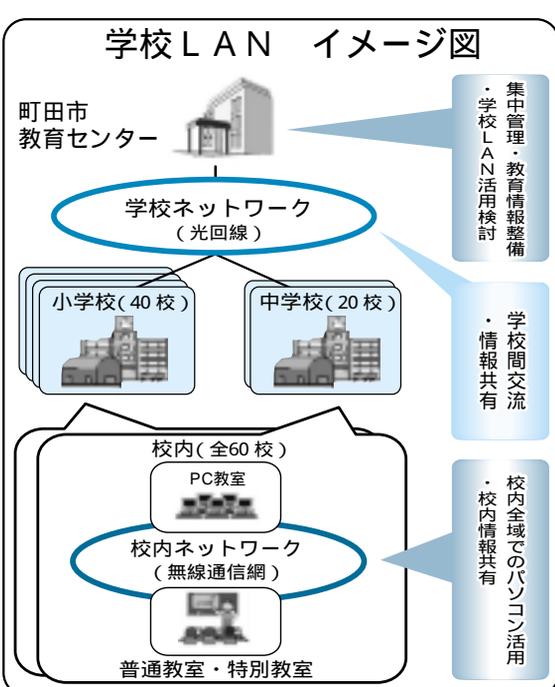
約3000点あります。また、市内にある公共施設にも撮影担当者が出かけていき、教材化に当たっています。

学校情報広場
新着教育情報
教育に関するニュースや町田市教育委員会からの情報を掲載する部屋です。フォーマット類もダウンロードして使用できるような形を目指しています。紙データによる多量な情報交換を簡素化することや連絡事項等を徹底することがねらいです。7月稼働を目標に行中です。

各学校からの情報発信
各学校のイベント情報や公開授業の予定などを掲載します。各校間の情報を手軽に交換していくための手助けになる部屋です。

集めています。より多くのモデル授業の映像が集まるように全校に出かけていき、教材化に当たっています。

今後の取り組みとしては、豊富な情報量、簡単な使用方法、情報更新を意識しながら、これらのコンテンツの充実をはかっています。また、町田の教育がより良いものになるよう、教育センターを中心に学校LANの更なる活用も進めていきます。



中学校2年生職場体験事業

3期に分け 連続5日間

対象 2,800人

地域で支えよう「町田っ子」の未来探し

職場体験のねらい
職場体験を通して、人々の働く様子から、子どもたちが自分なりの生き方を見つけることができるようになります。

将来、子どもたちが直面する様々な課題に、柔軟にたくましく対応できる「生きる力」を身に付けるようにします。

地域と中学生との関係をつくり、地域と学校、行政が一体となって生徒の健全育成を図ります。

町田市教育委員会は、今年度も市立全中学校の2年生約2800人を対象に、地域で職場体験を行う事業を推進します。今年度は実施時期を3期に分け連続5日間行います。職場体験事業の趣旨をご理解の上、ご支援とご協力をお願いいたします。

昨年度の状況
昨年度は、中学校2年生2788名を777の事業所に受け入れていただき、生徒は元気に体験を終えることができました。実施後に行ったアンケートでは、事業所の方から

- ・生徒を地域で育てるという方向性は好ましい。
- ・子どもたちにとって働くという

職場体験受け入れ先
町田市内外の各事業所や公共施設などを予定しています。

学習としての職場体験
総合的な学習の時間や特別活動などを中心に、働くことの意義を学んだり、自分の就きたい職業などについて調べたりします。

受入先では、実際に働いたり、話を聞いたりします。

実施後には、体験日記や記録、礼状などを作成したり、体験報告会を開いたりします。



- <実施日・実施校一覧>**
- 【第1期】9月25日(月)～29日(金)〔8校〕
・本町田中学校、鶴川第二中学校、真光寺中学校、忠生中学校、木曽中学校、小山田中学校、堺中学校、武蔵岡中学校
 - 【第2期】11月6日(月)～10日(金)〔6校〕
・町田第一中学校、町田第二中学校、つくし野中学校、鶴川中学校、薬師中学校、山崎中学校
 - 【第3期】2月5日(月)～9日(金)〔6校〕
・町田第三中学校、南大谷中学校、南中学校、成瀬台中学校、南成瀬中学校、金井中学校

経験することは、今後社会に出たときに必ず役に立つ。というご意見や、1から10まで教え込まなければならなかった。といった課題のご指摘もいただきました。全体としては、概ね好意的、協力的なご意見を多くいただきました。結果となりました。ご協力にあらかじめ感謝申し上げます。

経験することは、今後社会に出たときに必ず役に立つ。というご意見や、1から10まで教え込まなければならなかった。といった課題のご指摘もいただきました。全体としては、概ね好意的、協力的なご意見を多くいただきました。結果となりました。ご協力にあらかじめ感謝申し上げます。

6月1日(火)に南成瀬小学校で、ドイツの教育学者であり青山学院大学の招聘教授でもあるクリストフ・ヤフク教授が、英語活動の授業を行いました。同教授は小学校英語の第一人者であり、また南成瀬小学校は市内でも有数の英語活動の活発な学校です。

授業は、同校の4年2組の児童を対象に行われ、大勢の参観者の中、子どもたちは気後れする様子もなく、活動的な学習をしました。子どもたちは、先生の真似をしながら、体を動かしたり英語を話したりするうちに、英語だけの授業に引き込まれていきました。歌やゲームを通して英語に親しんだ45分間に、子どもたちは満足している様子でした。

町田市教育委員会では、7月から小学校の教員を対象にした英語活動の研修会をスタートします。

ドイツの教育学者が
小学校英語の指導



各学校のALT（外国語指導補助者）担当者や国際理解教育担当者が、教育センターでALTとのチームティーチング等、様々な英語活動や英語の指導法について、演習や作業を中心に研修します。また、各学校の希望により、小学校英語活動スクールバック研修（講師派遣型研修）も、英語活動の一層の充実を図ります。